

嘉麻市人権教育・啓発基本方針（案）

修正等について

< 目 次 >

嘉麻市人権教育・啓発基本方針 修正について・・・・・・・・・・ 1 P ~ 4 P

嘉麻市人権教育・啓発基本方針 審議会指摘事項について・・・ 5 P

嘉麻市人権教育・啓発基本方針 修正について

は、審議会からのご意見を反映したものです。

頁 (行)	項目	修正前	修正後	修正事由
5 (8)	第2章 人権問題を取りまく状況と課題 1 国際的な潮流		<p><u>2019（令和元）年12月に、中国の武漢市で発生し全世界に広がっていった新型コロナウイルス感染症は、2020（令和2）年10月末では、感染者が4,550万人を超え、死者は118万人を超えるに至っています。一日も早い医学的解明やワクチンの開発が切望されているところですが、この新型コロナウイルス感染症については、その感染拡大防止のための自粛や外出制限を余儀なくされるなどの生活不安や精神的なストレス、さらには、未知なるウイルスに対する危機意識から、感染者やその家族、または関係者を排除することや、医療従事者等に対する偏見や差別的対応がなされるなど、深刻な人権侵害事案が発生しています。こうした人権侵害事案に対する啓発については喫緊に取組を行う必要があります。</u></p>	新型コロナウイルス感染症にかかる文章を追記しました。
6 (9)	第2章 人権問題を取りまく状況と課題 3 福岡県の状況と課題	2003（平成15）年に「福岡県人権教育・啓発基本指針」を策定し、部落問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人などの様々な人権問題等の基本的人権にかかわる	2003（平成15）年に「福岡県人権教育・啓発基本指針」を策定し、 <u>福岡県の実情に即した人権教育・啓発に関する施策を推進してきました。</u> <u>しかしながら、</u> 部落問題をはじめ、女性、子ど	2018（平成30）年3月に改定された「福岡県人権教育・啓発基本指針」に関する部

		問題の解決に向け、学校、地域、家庭、職場などあらゆる場をととして人権教育・啓発を推進しています。	も、高齢者、障がいのある人、外国人などの様々な人権問題やインターネット上の人権侵害、性的少数者に対する人権問題が顕在化する等、人権を取り巻く状況が大きく変化してきたことに伴い、2018（平成30）年3月に「福岡県人権教育・啓発基本指針」を改定し、基本的人権にかかわる様々な問題の解決に向け、学校、地域、家庭、職場などあらゆる場を通して人権教育・啓発を推進しています。	分を追記しました。
8 (1)	第4章 分野別人権 施策の推進 1 部落問題 (1) 現状と課題	本市には、同和地区が多くあり、その人口や世帯数において県内でも高い比率を占めています。	削除	「高い比率」と明記していますが、具体的な数値について把握できず、現状の実態が不明であるため削除します。
12 (11)	2 女性の人権問題 (1) 現状と課題	2018（平成30年）には、市や警察などの関係機関がDV被害者支援の総合的な対策についての協議を行うため、「嘉麻市配偶者等からの暴力防止対策連絡協議会条例」を施行しました。また、2016（平成28）年には、「女性活躍推進法」の施行を受け、「嘉麻市特定事業主行動計画」を定めるとともに、同年「嘉麻市女性活躍推進宣言」を行い、市の女性の管理職登用の目	<u>2016（平成28）年には、「女性活躍推進法」の施行を受け、「嘉麻市特定事業主行動計画」を定めるとともに、同年「嘉麻市女性活躍推進宣言」を行い、市の女性の管理職登用の目標設定を行いました。</u> <u>また、2018（平成30年）には、市や警察などの関係機関がDV被害者支援の総合的な対策につ</u>	（2016年と2018年）時系列に沿って入れ替えを行いました。

		標設定を行いました。	<u>らの暴力防止対策連絡協議会条例」を施行しました。</u>	
22 最初	8 HIV感染者等 の人権問題 (1) 現状と課題		<u>また、現在全世界的に脅威となっている新型コロナウイルス感染症については、自らの感染を恐れるあまり、感染者やその家族、または関係者を排除しようとする事案が発生しています。さらには医療従事者等に対する差別的対応など、新たな人権問題が発生しています。</u>	新型コロナウイルス感染症に関連した文章を追加しました。
22 (2)	8 HIV感染者等 の人権問題 (2) 課題解決の基本的な考え方	思い込みなどによるHIV感染症患者等に対する偏見や差別を解消するため、一人ひとりが正しい知識を持ち、患者・感染者の置かれた立場を理解することが必要です。	<u>また、新型コロナウイルスについては、未だ解明されていない部分が多いところがありますが、基本的な感染予防対策を行うことで感染リスクが軽減されることや、重症化しやすい要因等の解明及びワクチン開発など急速に医学的研究も進んでいます。</u> <u>様々な感染症については、偏見や差別を解消するため、一人ひとりが正しい知識を持ち、誰もが感染する可能性があることを理解し、HIVや新型コロナウイルスをはじめ、様々な感染症等に対する思い込みや不確かな情報に惑わされることなく、患者、感染者、関係者等の置かれた立場を理解することが必要です。</u>	新型コロナウイルス感染症に関連した文章を追加及び整理しました。

<p>23 (5)</p>	<p>9 ハンセン病患者・回復者およびその家族等の人権問題 (1) 現状と課題</p>	<p>「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が制定されましたが、今なお・・・</p>	<p>「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が制定されました。<u>また、ハンセン病元患者の家族が、国の隔離政策による家族被害の救済を求めて、熊本地方裁判所に集団訴訟を起こしたハンセン病家族訴訟において、2019（令和元）年6月、国の責任を認め、国に対しハンセン病元患者家族に対する賠償を命じる判決を下しました。国は、2019（令和元）年7月、控訴を断念し賠償命令が確定しました。これを受けて、2019（令和元）年11月「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が改正され、ハンセン病の患者であった者等の家族についても同様の未解決の問題が多く残されているとして、「ハンセン病元患者家族に対する補償金の支給に関する法律」が制定され、ハンセン病元患者やその家族が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようにするための基盤整備を行い、偏見と差別のない社会の実現に真摯に取り組んでいかなければならないと定めていますが、今なお・・・</u></p>	<p>ハンセン病家族訴訟に関する文章を追加しました。</p>
<p>28 (3)</p>	<p>第4章 分野別人権施策の推進、16 災害発生時の人権問題 (3) 具体的な方針</p>	<p>・・・体制の整備に努めます。</p>	<p>・・・体制の整備に努め、<u>円滑な避難行動が実施されるために必要な支援を行います。</u></p>	<p>要支援者の非難行動についての表記を追記しました。</p>

嘉麻市人権教育・啓発基本方針 審議会指摘事項について

頁 (行)	項目	指摘事項	考え方
-	全項目	現状と課題において、高齢者及び障がい者等、具体的な数字等を用いて記載すべきではないか。	<p>基本方針につきましては、大きな指針を示すものと考えており、詳細な数値は入れない方針としていたところです。しかし、今回のご指摘を受けて、関係各課及び部会とも協議した結果、現在数値を記載している高齢化率及び、障がい者当事者に対するアンケート結果からの引用数値以外の数値については、その数値が実施計画の指標として必要ではない限り、基本方針には詳細な数値については追記しないこととします。</p> <p>なお、実施計画の実施状況等のご報告の際には、極力、具体的数値に基づく報告に努めさせていただきます。</p>
8 (7)	<p>第4章 分野別人権 施策の推進</p> <p>1 部落問題 (1) 現状と課題</p>	旧山田市では、同和対策事業は行われていなかったため、条例はなかったのではないかと思うので、「旧市町」は、「旧町」と改めるべきではないか。	旧山田市においても、差別をなくすための条例が制定されており、各種啓発事業が展開されてまいりました。同和対策事業は行われていませんでしたが、部落問題を含め差別をなくしていくための啓発事業等が行われていたので、今回のご指摘の部分につきましては修正せず、「旧市町」と表現させていただきます。
28		災害時、市が避難勧告等を発令しても、障がい者は避難所へ行く手段がない方が多いと聞いている。市として、安全な場所に移動させる方法等を記載してほしい。	現在、関係部署におきまして、避難行動要支援者名簿や個別計画を作成等の取組が進められています。基本方針の中においては、具体的な手法について明記していませんが、「円滑な避難行動が実施されるための必要な支援を行う」と追記させていただきます。